



書き初め展 一文字に心を込める

1月16日(月)～21日(土)



書き初めとは、年が明けて初めて書や絵を書くことで、一般的には1月2日に行われます。昔は、あらたまった気持ちで筆をとり、若水ですった硯で恵方に向かっておめでたい詩句を書いたと伝えられています。書き初めは、1年間の学問への取り組みを確認する上でも、必要不可欠でした。そして、書き上が

った書き初めは、しばらく部屋などに掲げ、自分への戒めとして常に目を向けていたようです。そして1月15日のどんど焼きで火に投げ、燃えて高く上がるほど字がうまくなると言い伝えられています。

御成門小学校の子供たちは、3学期の始めに書き初めをしました。各教室では、一文字一文字に心を込めて書をしたためる子供たちが織りなす、心地の良い静寂な時が流れていました。その様子から、「今年も一年がんばるぞ!」という子供たちの意気込みが感じられました。きっと、今年も多くの場面で様々な成長を見せてくれることでしょう。今からとても楽しみです。

(国語部：篠原 優子)

スピーチ大会

自分の思いを言葉で伝えよう

1月21日(土)

学校公開日



1月21日(土)にスピーチ大会を行いました。全校児童が、自分の思いや考えを工夫して表現し、スピーチ大会を通して、友達のスピーチのよさや表現のよさに気付くことをめあてに取り組みました。当日は学年の代表者が全校児童の前でスピーチを披露しました。

学年の代表者とテーマを紹介します。1年生・池田昌陽さん「知らせたいな、見せたいな」、2年生・米川知宏さん「あったらいいな、こんなもの」、3年生・野尻陽響さん「つたえよう、楽しい学校生活」、4年生・片岡玲名登さん「だれもが関わり合えるように」、5年生・毛利名菜さん・保土田梅乃さん「自



分の生き方を見つめて」、6年生・正垣真理子さん「わたしの学校生活」。

それぞれの児童のスピーチからは、日々の学習や生活の中で学んだこと、感じたこと、自分の願いが伝わってきました。声の大きさ、話す速さ、表情等も意識したすばらしいスピーチでした。他の児童も、スピーチの内容にうなずきながら真剣な表情で最後まで聞いていました。このスピーチ大会を通して、「話す」こと、「聞く」ことの大切さを学ぶことができました。今後も、児童一人一人が自分の思いを言葉で伝えること、友達の思いを聞くことの大切さを学んでほしいです。(国語部：瀧元 沙祈)



ASEAN交流

異文化との出会いを通して

1月21日(土)

学校公開日



ASEAN交流とは東南アジア諸国の方々と交流を通して、異なる文化やその文化をもった人々を受け入れる態度を養うことを目的とした行事です。毎年、日本アセアンセンターのご協力により、様々な国の講師をお招きしています。

今年度は、1月21日(土)の学校公開日に、

インドネシア、シンガポール、ベトナム、タイ、マレーシア、ブルネイ、ミャンマー、カンボジアの方々が来てくださいました。

各クラスに1人ずつお迎えして、生活の様子、文字、食べ物など、さまざまな切り口で自国の文化を紹介をしていただきました。民族衣装や、踊り、日焼け止めの話に及んだクラスもあります。子供たちは興味をもって楽しそうに聞いており、質問の時間には、たくさん手が挙がっていました。

こうした異文化交流が、我が国の文化や伝統のよさに気づききっかけにもなってくれることを願っています。

(国際理解担当：緒方 理子)

委員会発表(5・6年)

僕たち、私たちが頑張っています

1月27日(金)

児童集会



御成門小学校では、5・6年生が7つの委員会に所属して活動しています。

各委員会が、学校内の仕事を分担し、それぞれ工夫しながら活動しています。一ヶ月に1回木曜日の6時間目に委員会の時間が設けられていますが、その時だけではなく、どの委員会も普段から地道に活動しています。

その様子を低学年に紹介する場として、委員会発表があります。パワーポイントを使った写真、表、自分たちで書いた絵、寸劇、クイズなどを交え、分かりやすく活動を紹介し

ます。

第1回目は1月27日(金)、保健給食委員会、放送委員会、栽培委員会でした。どの委員会も日頃の活動内容が詳しく分かる工夫がされ、仕事を積み重ねている自信が感じられる発表でした。

2回目は2月17日(金)に運動委員会、環境委員会、図書委員会の発表を予定しています。

(委員会担当：東 素子)

全国学校給食週間

旬の食材を子供たちに

1月24日(火)～30日(月)



港区の学校給食では日本の伝統行事や学校行事に基づく行事食、日本各地に伝わる郷土料理、旬の食材を使用した季節感のある料理、地域性を生かした世界の料理などを献立に取り入れています。

1月24日から30日まで全国学校給食週間でした。御成門小学校では1月24日から27日までの4日間、昔の給食を再現したり、「東京都産」の食材を使ったメニューを出したりしました。

学校給食はなぜ始まったのか、昔はどんな

給食が出ていたのか、今の給食と比べてみるとどんな違いがあるのか知ってもらいたいと思います。

また、「東京都産」の食材を知ること、東京都のいろいろな農産物や水産物を身近に感じてください。

家庭でも「東京都産」の食材を使った食事をしてみたいかがでしょうか。

(栄養士：日吉 恵美)

防災訓練

備えあれば憂いなし!

1月13日(金)



1月13日(金)の2・3校時に地域の方やPTA執行部、港区芝地区総合支所の方々にご協力いただき、防災訓練を実施しました。

非常食の試食やダンボールハウス・簡易トイレ、防災備蓄倉庫の見学をさせていただきました。体験学習を通して普段考えることのない被災後の避難所生活について考えました。

3校時には防災の専門家から東日本大震災時の経験や、災害が発生した時の身の守り方について映像や見本を見せてもらいながら話していただきました。

最後に講師の先生から津波の被害を受けた大川小学校に咲いたヒマワリの種をいただきました。震災のことを自分のことのように捉え、いつまでも忘れないように日々の生活を見直していきたいものです。

(避難訓練担当：吉村 徹志)

